

Münchener Philharmoniker

MÜNCHNER
PHILHARMONIKER

Tugan Sokhiev, Conductor



©Marco Borggreve

ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮：トゥガン・ソヒエフ

2024年

11/7 (木) 19時 サントリーホール

Thursday, November 7, 2024 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

チャイコフスキー：

オペラ「エフゲニー・オネーギン」から ポロネーズ
Tchaikovsky: Polonaise from "Eugene Onegin"

ラフマニノフ：

パガニーニの主題による狂詩曲 op. 43

Rachmaninov: Rhapsody on a Theme of Paganini op. 43

ピアノ：小林愛実 Aimi Kobayashi, *Piano*

©Makoto Nakagawa

リムスキー=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」op. 35

Rimsky-Korsakov: Symphonic Suite "Sheherazade" op. 35

コンサートマスター：青木尚佳 Naoka Aoki, *Concertmaster*



11/8 (金) 19時 サントリーホール

Friday, November 8, 2024 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ブルックナー：交響曲第8番 ハ短調

(ノーヴァク版/1890年稿)

Bruckner: Symphony No. 8 in C minor (Nowak ver., 1890)



S¥34,000 A¥28,000 B¥22,000 C¥16,000 D¥13,000

主催：KAJIMOTO 後援：ドイツ連邦共和国大使館
協賛：ピー・エム・ダブリュー株式会社
協力：ワーナーミュージック・ジャパン



KAJIMOTO

信頼の交流が音となる―― 現代屈指の指揮者&南ドイツの名門オーケストラへの期待

トゥガン・ソヒエフは今や中堅世代の指揮者の中でも現代屈指の存在。ここ数年は毎年N響の定期公演に客演することもあって、日本でも特に人気のある一人だ。ソヒエフがオーケストラを指揮するとき、絶妙のコントロールとともに、そこには自由な“ドラマ”が溢れる。

ソヒエフは、あの憂うべきウクライナ戦争が始まった時、ロシア出身であるがゆえに微妙な立場に置かれ、故国とフランスと両方のポストを辞任するという苦渋の決断をする状況に追い込まれたが、欧米の名だたる楽団のいくつかは、そんな彼を見捨てることなく招き続けた。その一つがミュンヘン・フィルである。付け加えるならば、代役として昨秋にウィーン・フィルとの日本公演で指揮したブラームスやR.シュトラウス作品などの名演と絶賛も記憶に新しい。

ミュンヘン・フィルはマーラーが自作を初演したり、当初からブルックナー演奏の伝統をもち、殊に巨匠チェリビダッケが音楽監督時代に一貫して振り続けたブルックナーはもはや伝説だ。そして透明感と重厚さをあわせもった充実のサウンドは、レヴァインやマゼール、ゲルギエフの時代にもさらに磨きをかけられ、2018年の来日公演でゲルギエフが指揮したブルックナー「第9」も期待に違わぬものだった。そしてソヒエフがここ数年じっくりと勉強を進めていたブルックナー最大の「第8交響曲」を、気脈に通じた同団と演奏するのは、この作曲家のアニバーサリー・イヤーにとっても大きな話題の一つとなるだろう。

もちろんソヒエフの十八番、リムスキー=コルサコフ「シェエラザード」とともに、ラフマニノフ「パガニーニ狂詩曲」をさらなる充実の途にある小林愛実と共演するというプログラムも聴き逃さない。

(A)



ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団 The Munich Philharmonic

1893年、ピアノ製造業一族が設立したカウム管弦楽団が前身。1928年にミュンヘン市の運営となり、ミュンヘン・フィルとなる。マーラーが自ら交響曲第4番、第8番を世界初演したほか、レーヴェが音楽監督として師であるブルックナー作品を積極的に取り上げるなど、当初から高い音楽的水準の伝統を歩み始めた。1979年に音楽総監督となったチェリビダッケによって、特にブルックナー交響曲の名演を通じて同団の黄金時代を築いた。

ほかにもケンペ、レヴァイン、ティーレマン、マゼール、ゲルギエフが音楽監督や首席指揮者を務め、現在まで欧州屈指の名門オーケストラの地位を守り続ける。2026年からはシャニが同ポストに就任予定。



トゥガン・ソヒエフ (指揮) Tugan Sokhiev, Conductor

ロシア出身。現代屈指の指揮者の一人であり、トゥールーズ・キャピトル国立管やベルリン・ドイツ響、ボリショイ歌劇場の音楽監督や首席指揮者を務めたほか、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響、N響などに常連として客演している。昨秋のウィーン・フィルの日本ツアーを代役で指揮し、絶賛された。オペラではウィーン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーパーなどを指揮。録音も数多い。



小林愛実 (ピアノ) Aimi Kobayashi, Piano

2021年のショパン国際コンクールで第4位。2015年には同コンクールでファイナリスト。7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たし、数多くの国に招かれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラなどのオーケストラと共演。2010年に14歳でEMI ClassicsからCDデビューを果たし、18年にはワーナークラシックスとインターナショナル契約をした。最新CDは「ショパン：前奏曲集 他」。2022年3月に第31回出光音楽賞受賞。

ワーナークラシックスより絶賛発売中

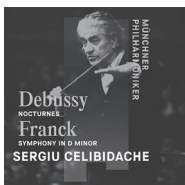


トゥガン・ソヒエフ

今その活躍が世界の注目を浴び続ける
屈指の指揮者、ソヒエフ

トゥガン・ソヒエフ指揮
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

- ショスタコヴィチ：交響曲 第10番
(日本語解説書付き)【輸入盤】
9029.637771 オープン価格
- ショスタコヴィチ：交響曲 第8番 (SACDハイブリッド)
WPCS-13832 ¥3,300(税込)
- ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3&4番
(日本語解説書付き)【輸入盤】
エリザベト・レオンスカヤ(ピアノ)
5419.726309 オープン価格



ミュンヘン・ フィルハーモニー 管弦楽団

19世紀以来の名門オーケストラの名録音

- ドビュッシー：夜想曲、フランク：交響曲 二短調 (SACDハイブリッド)
WPCS-13852 ¥3,300(税込) ※6月19日発売。輸入盤CDは発売中
 - シベリウス：交響曲 第5番、ストラヴィンスキー：火の鳥
(日本語解説書付き)【輸入盤】
5452.356025 オープン価格 以上 セルジュ・チェリビダッケ指揮
 - R.シュトラウス：家庭交響曲【輸入盤】
ズービン・メータ指揮 (2021年録音)
5452.356035 オープン価格
- その他 多数好評発売中



小林愛実

2021年、第18回ショパン国際
ピアノ・コンクール4位入賞、
深い音楽性と類まれな音色

- ショパン：前奏曲集 他 (SACDハイブリッド)
WPCS-13836 ¥3,300(税込)
 - ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く
WPCS-13760 ¥3,080(税込)
- 他 好評発売中



チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます。

“kajimotomusic”で検索! YouTube X(旧Twitter) @kajimoto_News Instagram @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 270-586)

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

サントリーホールチケットセンター

0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)



カジモト・
イープラス

一般発売:
6/22(土) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 6/13(木) 12:00~16(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ● 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様安心してお聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。